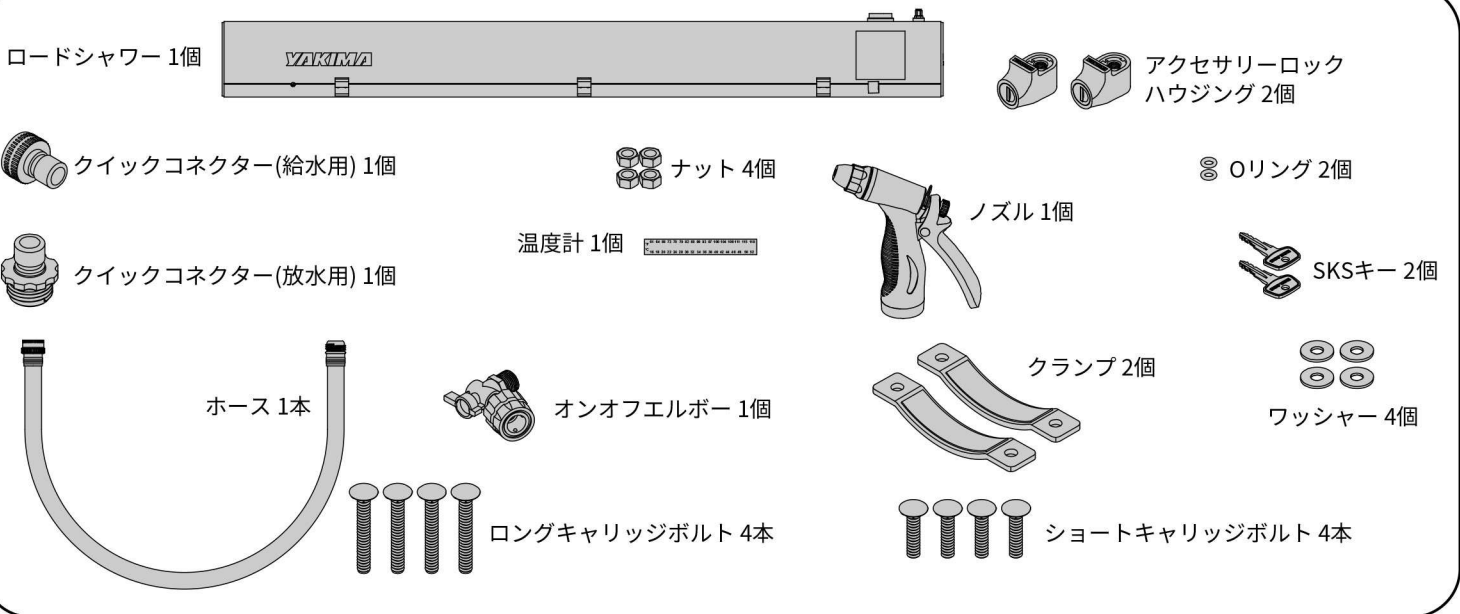


必要なツール

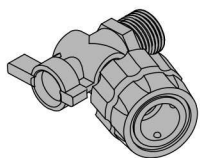
モンキーレンチ
給水ホースとタイヤ空気圧計(アメリカ式)、もしくはポンプ

セット内容

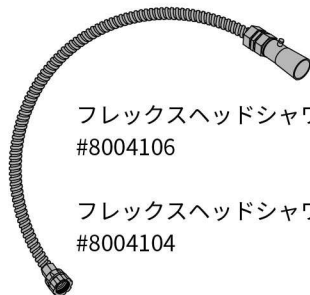
本説明書のイラストはロードシャワー 7Gを掲載しています。



おすすめアクセサリ



オンオフエルボー
#8004103



フレックスヘッドシャワー LG 76cm
#8004106

フレックスヘッドシャワー MD 48cm
#8004104

クロスバー間隔

ロードシャワー4G/7G : 61~127cm
ロードシャワー10G : 81.3~203.2cm

適合するベースキャリアの耐荷重

【ロードシャワー4G】
耐荷重45kg以上のベースキャリア
【ロードシャワー7G / 10G】
耐荷重75kg以上のベースキャリア



すべての警告をよくお読みになり遵守してください。：安全に使用するための手順は、タンク部分にも貼られています。給水キャップとエアバルブの下に、ロードシャワーを使用する際に遵守しなければならない重要な注意書きがあります。



警告

ロードシャワー内に給水した水を飲まないでください。



警告

気温が氷点下のときにロードシャワー内に水を残さないでください。本体が破損する恐れがあります。氷点下では、タンク内の水を必ず排出してください。また、RV用不凍液を本製品に注入しないでください。



警告

ロードシャワーが取り付けられている状態で、自動洗車機を利用しないでください。自動洗車機を利用する際は、必ずロードシャワーを取り外してください。



警告

取り付け金具は定期的に点検し、必要に応じて締め直してください。また、オフロード走行中は、こまめに駐停車し、取り付け金具の点検・締め直しを行ってください。これを怠ると、急ブレーキ、急カーブ、または交通事故の際にロードシャワーが車両から外れ、重大な事故につながる恐れがあります。ロードシャワーが車両から外れたことにより生じた損害や負傷について、当社は一切の責任を負いかねます。

傾斜のある場所での利用

傾斜のある場所で使用する場合は、水をすべて出し切るために、ホース取り付け部の位置が最も低くなるように駐停車してください。

ロードシャワーは、追加で反対側にもオンオフエルボーを取り付けることができます。

ホースに装着するクイックコネクターで、ホースを素早く付け替えることができます。

スプレーノズル



スプレーノズルは、様々な噴射パターンに調節できます。スプレーノズル先端を回転させるだけで、シャワースプレーからジェット噴射へ切り替えることができます。

先端が完全に締められている場合、水は出てきません。また、スプレーノズルを取り外してホースから直接水を流すこともできます。

走行前には、必ずホースクリップとマジックテープ付きストラップを使用し、ホースとスプレーノズルを固定してください。

メンテナンス

保管時は、タンク内を完全に空にしてください。バルブを開け、ホースと給水キャップを外した状態で保管し、乾燥させてください。

すべての取り付け金具は定期的にしっかりと締め付けてください。

清掃の際は石鹸と水で洗ってください。

トラブル時

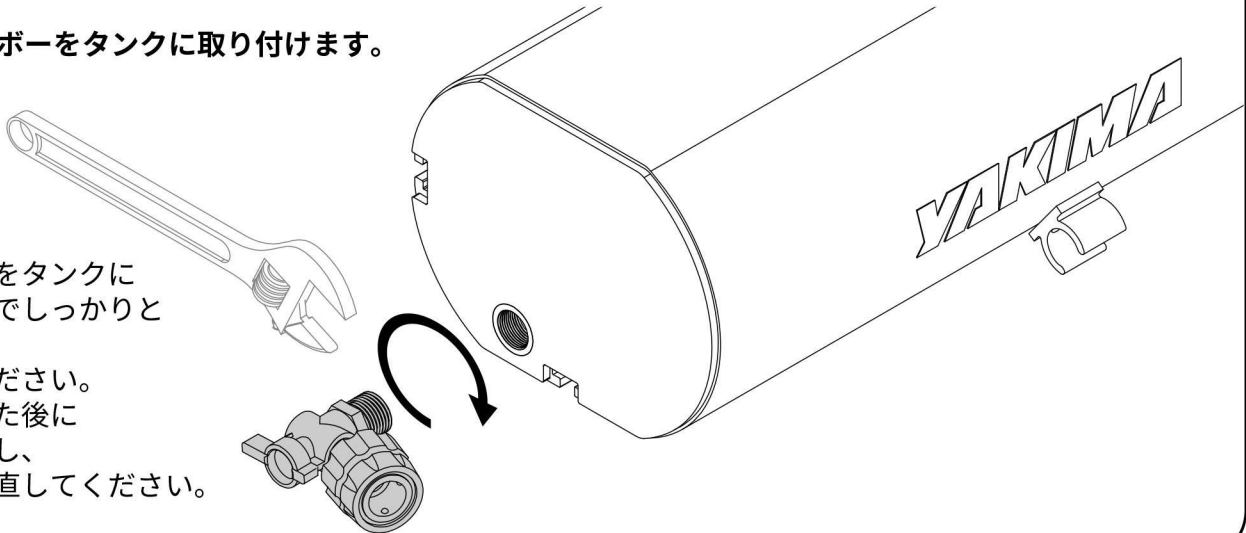
エアバルブから漏れがある場合は、シュレーダーバルブコア締め付けツールを使用して、バルブを締め付けてください。オンオフエルボー周辺から漏れがある場合は、バルブを取り外し、ネジ山にシールテープを巻いた後、本説明書に従ってバルブを再取り付けしてください。

注意：定期的にノズル内部に水垢が付着していないか確認し、必要に応じて清掃してください。

組み立て

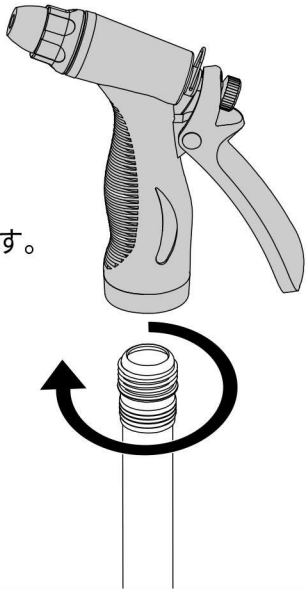
1 オンオフエルボーをタンクに取り付けます。

オンオフエルボーをタンクに取り付け、レンチでしっかりと締め付けます。
締め過ぎないでください。
タンクに水を入れた後に漏れがないか確認し、必要に応じて締め直してください。



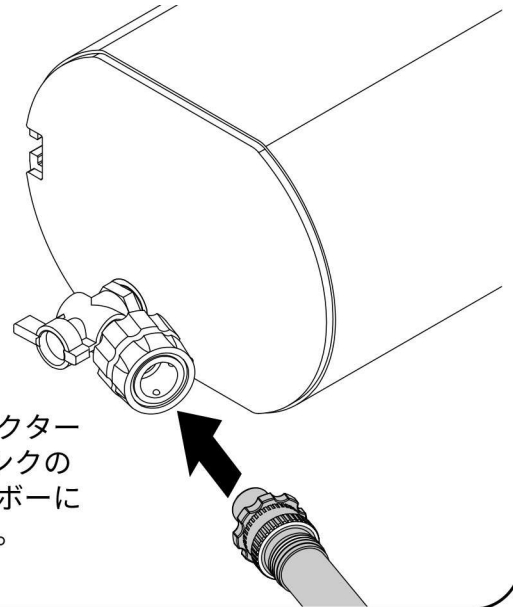
2 ノズルを取り付けます。

ノズルをホースのどちらかの端に取り付けます。
手で締めるだけで十分です。



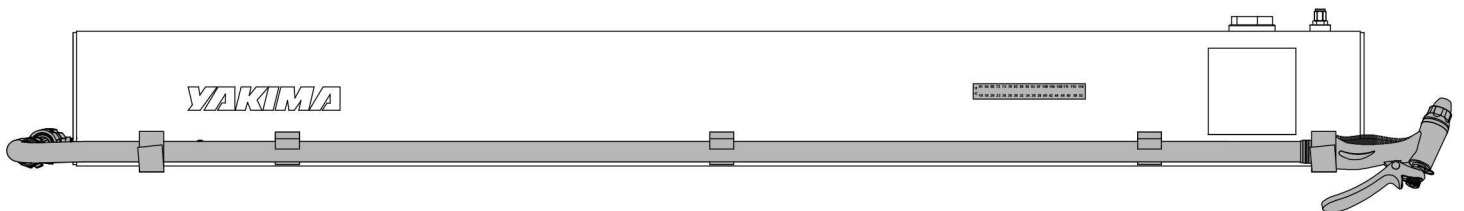
3 ホースをオンオフエルボーに取り付けます。

クイックコネクター(放水用)をタンクのオンオフエルボーに取り付けます。



4 ホースを収納し、温度計を取り付けてください。

ホースをホースクリップにはめ込み、マジックテープのストラップで固定してください。
その後、温度計の粘着面の保護シートをはがし、タンクのお好みの位置に貼り付けてください。



やけどを防ぐために、必ず温度計を確認した後、手で水温を確認してください。

取り付け

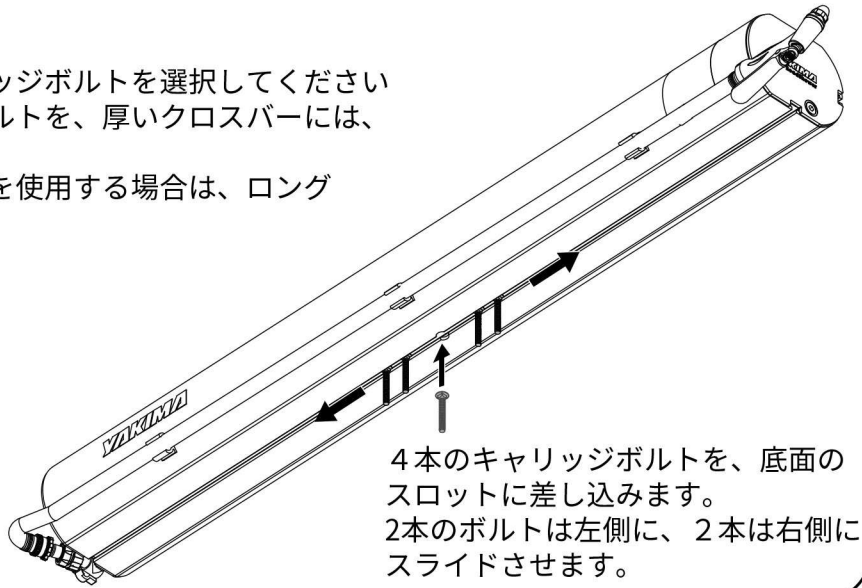
1 底面のスロットにボルトを取り付けます。

クロスバーの厚さに応じて、必要なキャリッジボルトを選択してください。薄いクロスバーにはショートキャリッジボルトを、厚いクロスバーには、ロングキャリッジボルトを使用します。
注意：付属のアクセサリロックハウジングを使用する場合は、ロングキャリッジボルトを使用してください。



注意

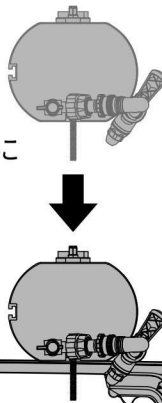
ロードシャワーの取り付けには、基本的には底面のスロットを使用してください。側面のスロットは、カスタム設置時のみ使用します。側面のスロットへの取り付けに関しては、7ページをお読みください。



4本のキャリッジボルトを、底面のスロットに差し込みます。2本のボルトは左側に、2本は右側にスライドさせます。

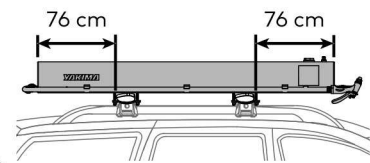
2 ロードシャワーを所定の位置に設置します。

ロードシャワーをタワーより内側に設置します。キャリッジボルトがクロスバーを挟むように配置します。



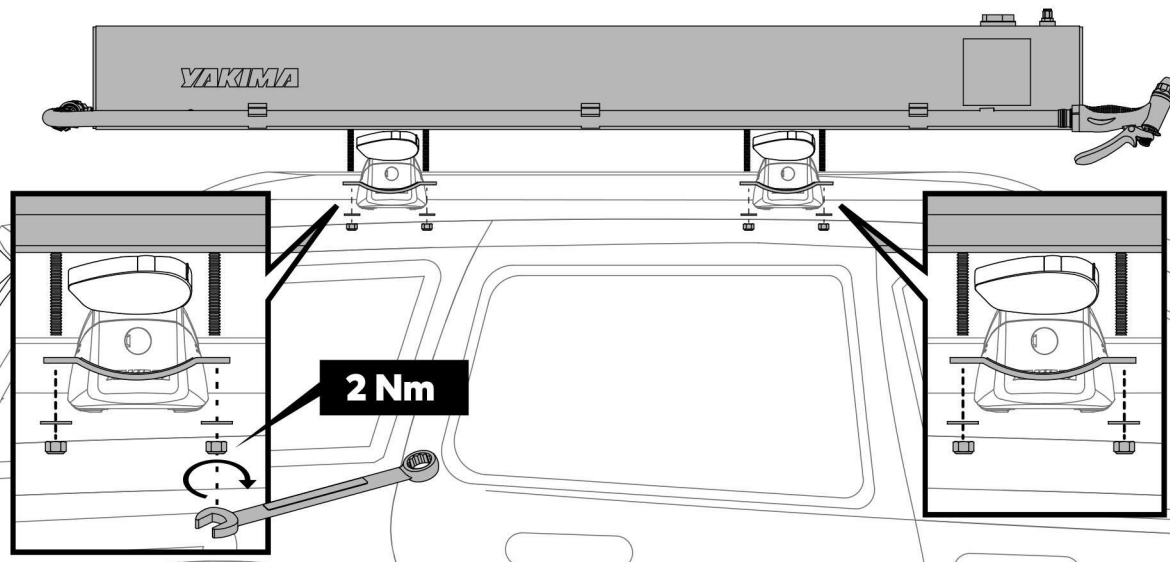
注意

フロントとリアのクロスバーから前後の張り出しは、76cmを超えないでください。



3 クランプを取り付けます。

レンチを使用し、図のようにクランプ・ワッシャー・ナットを取り付けます。2 Nmのトルクで締め付けてください。ロードシャワーに前後左右から力を加え、確実に取り付けられているか確認してください。
注：付属のアクセサリロックハウジングの使用をお勧めします。取り付け手順は7ページをお読みください。

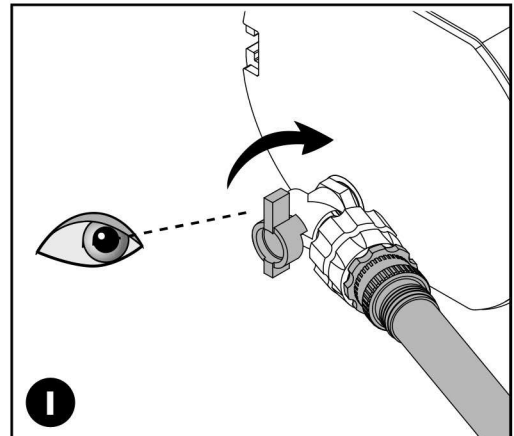
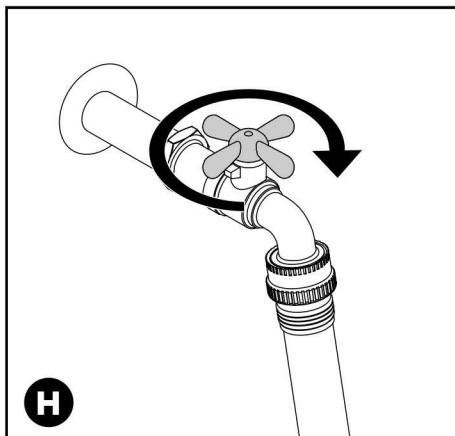
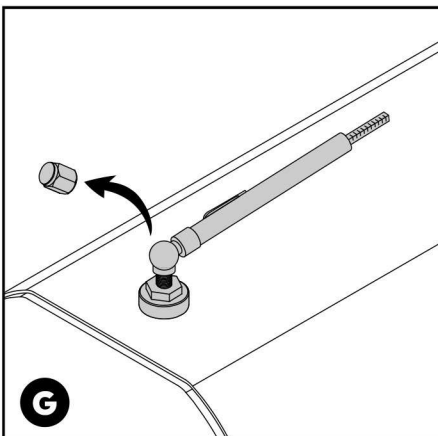
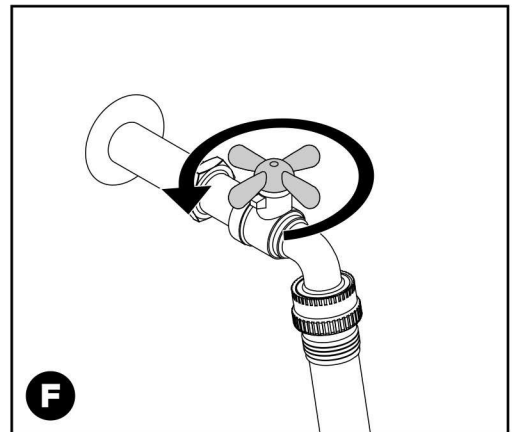
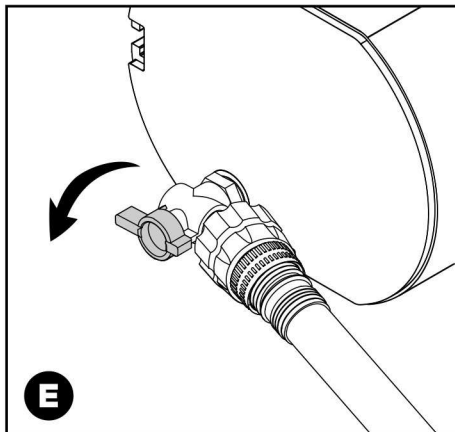
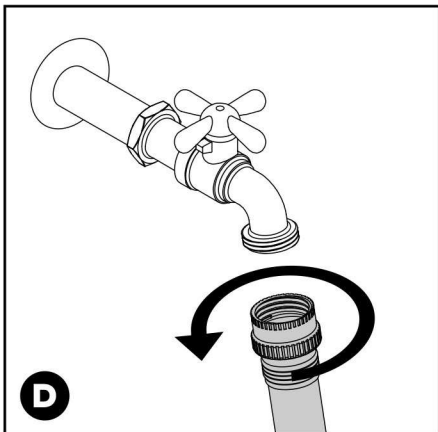
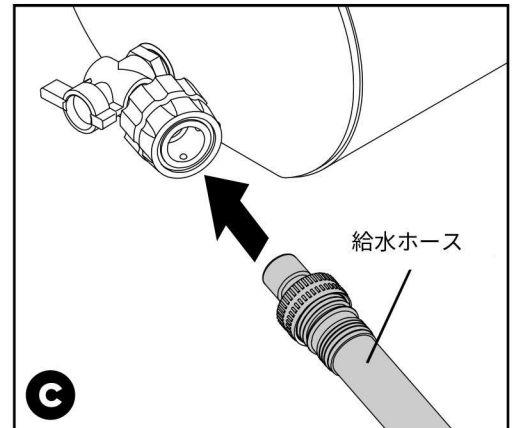
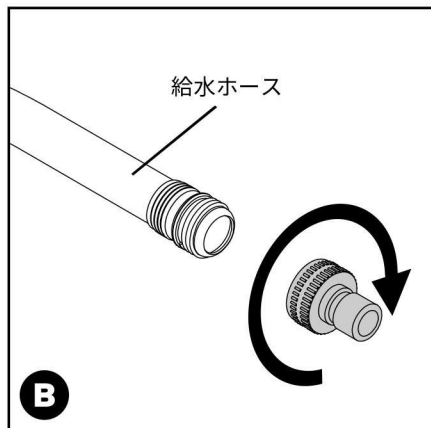
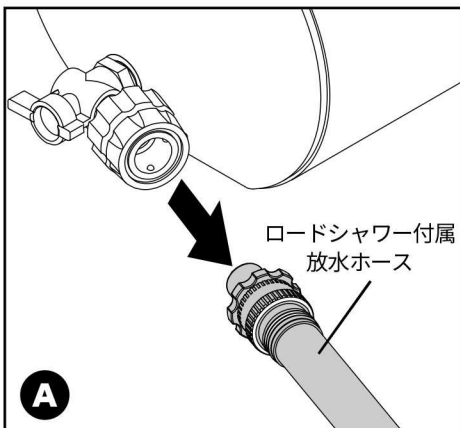


タンクの給水と加圧

1 給水ホースをタンクに接続して給水・加圧を行う方法です。

注意 ロードシャワーを初めて使う前には、タンクの清掃を行ってください。清掃方法については、2ページをお読みください。

- ① クイックコネクタ(放水用)を解除し、タンクからロードシャワーのホースを取り外します。
 - ② 給水ホースにクイックコネクタ(給水用)を取り付けます。
 - ③ クイックコネクタ(給水用)を取り付けた給水ホースを、オンオフエルボーに取り付けます。
 - ④ 給水ホースのもう一方の端を給水源に接続します。
 - ⑤ オンオフエルボーのバルブを開けます。
 - ⑥ 給水源の蛇口を開いて給水します。満水になるには、数分かかります。
 - ⑦ エアバルブのキャップを取り外し、タイヤ空気圧計を使用してタンク内の圧力を測定してください。
 - ⑧ 圧力が 380kpa~450kpa/50~65 PSI に達したら給水を止め、エアバルブのキャップを元に戻します。
 - ⑨ オンオフエルボーのバルブを閉じ、給水ホースを取り外しロードシャワーのホースを再度取り付けます。
- 注意：給水ホースを取り外す前に、オンオフエルボーのバルブが完全に閉じていることを確認してください



2 給水ホースをタンクに接続せずに給水し、ポンプで加圧する方法です。

① タンクの給水キャップを取り外します。

② タンクに綺麗な水を給水します。

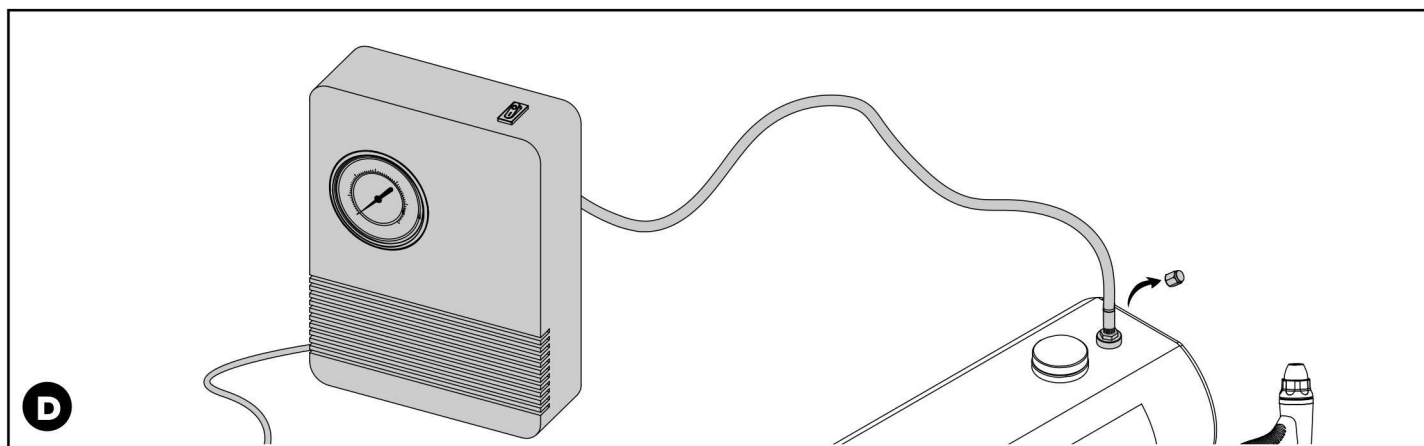
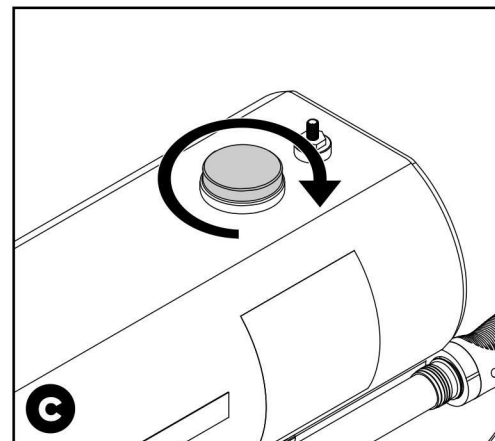
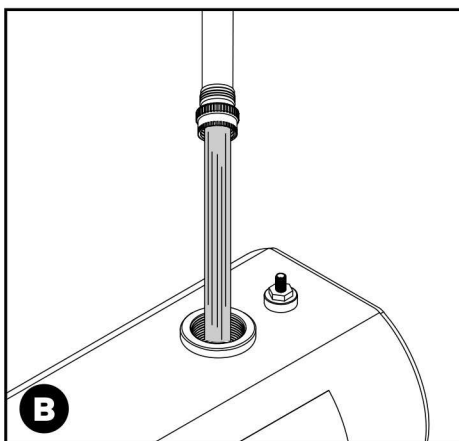
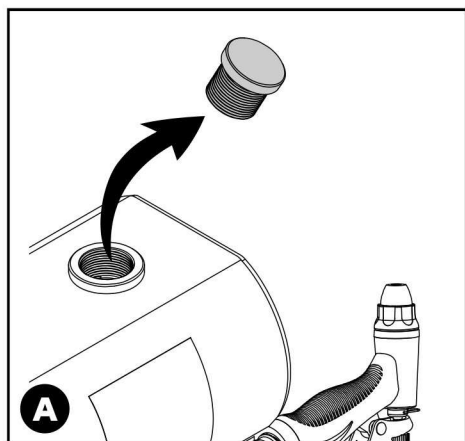
③ タンクの給水キャップを閉めます。

④ エアバルブのキャップを取り外し、エアバルブにポンプを接続します。12ボルトのタイヤコンプレッサー、もしくは、そのほかの適切なポンプを使用してください。タンク内の圧力を380kpa~450kpa/55~65PSIまで加圧した後、エアバルブのキャップを閉めます。

注意 ロードシャワーを初めて使う前には、タンクの清掃を行ってください。清掃方法については、2ページをお読みください。



本製品は、圧力が380kpa~450kpa/55~65PSIに達すると圧力を解放する仕様になっています。給水キャップの圧力解放弁が破損または改造されている場合、ロードシャワーが破裂し、重大な事故につながる恐れがあります。空気を注入する際は圧力を確認し、既定の圧力を超える圧力をかけないでください。517kpa/75PSIを超えても圧力が解放されない場合は、給水キャップを交換してください。



3 タンク内の水を温めます。

ロードシャワーは、暖かく晴れた日にはタンク内の水を温められます。太陽光がタンクの黒い表面を温め、アルミニウムがその熱を水に伝えます。タンクが日光を浴びている限り、水は温まり続けます。

水温は、周囲の環境条件にもよりますが、1時間あたり約10~15度上昇します。

例えば、水温が15°Cの場合、約2~3時間で32°C以上になる可能性があります。

平均的な晴れた日の日中は、水温は周囲の気温より約1~7°C低くなります。



警告

放水する際は、まず手の甲で約10秒間水温を確認してください。火傷をするほど熱くなる前に手を離してください。タンク内の水は、はじめにホースから出る水よりも高温である可能性があることにご留意ください。また、タンクに貼った温度計もご確認ください。最高表示温度は118°F/48°Cですので、表示がない場合は水温が118°F/48°Cを超えている可能性があります。水が高温の場合は、タンク内の圧力を抜いてから冷水を追加するか、自然に冷めるまでお待ちください。

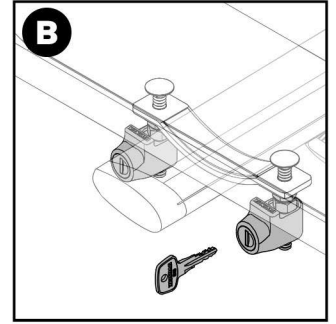
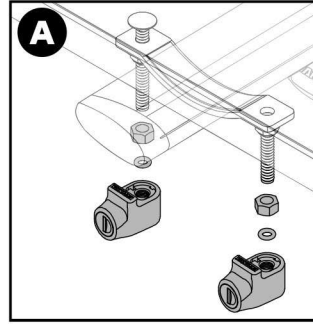
アクセサリロックハウジングの取り付け

①アクセサリロックハウジングを取り付けるには、フロントもしくはリアのクロスバーいずれかを選択し、ロングキャリッジボルトにナットを取り付け、Oリングを通し、クランプにあたるまでアクセサリロックハウジングをねじ込みます。

②SKSキーを使用してロックします。

SKSキーの番号を記録してください。
(ロックキーセットに記載されています。)

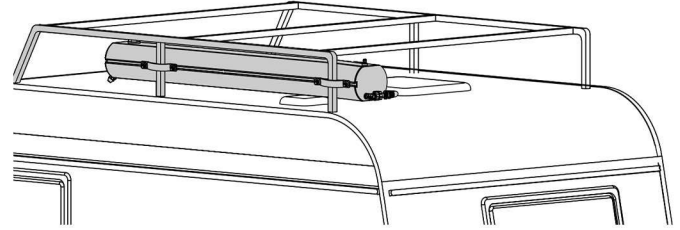
| | | | |
|--|--|--|--|
| | | | |
|--|--|--|--|



側面のスロットの使用

警告

側面のスロットは、車両やキャリアへのカスタム取り付け用のオプションです。満水時のロードシャワーの重量を支えることができるかは、お客様の責任において確認してください。YAKIMAは、側面のスロットを使用する際、安全に取り付けるために、2つ以上のクランプを使用することを推奨します。



注意事項

取り付けに関して

積載物の固定が不十分であったり、ルーフラックやアクセサリの取り付けが不適切だと、走行中にキャリアが落ちるなど重大な事故につながる恐れがあります。取り付け、取り扱い、使用は、製品および車両の説明書に従ってください。

この説明書に加えて、ルーフラックの取り付け説明書と車両の取扱説明書を確認してください。

本取扱説明書は、車両の取扱説明書と共に保管し、使用中は車内で保管してください。

安全のため、GSテストなど試験済みのルーフキャリアのみを使用してください。
(※GSテストとは、ドイツの製品安全法に基づいて行われるテストで、国際的にも認められています。)

フロントとリアのクロスバー間隔が指定されていないルーフラックの場合、少なくとも700mm、もしくは可能な限り大きく間隔をとるようにしてください。アクセサリ・ラックに穴を開けるなど加工をしての取り付けは推奨しておらず、保証対象外となりますので十分にご注意ください。

取り付け金具と積載物がしっかりとフィットし、問題なく機能するかを、以下のよう
な時に確認してください。

- ・ 出かける前
- ・ ラックまたは積載物を載せた後
- ・ 短い距離(50kmまたは30分)を走行後
- ・ 長時間の移動では定期的に
- ・ 悪天候、悪路走行時は2時間おきに
- ・ 車両から数時間離れた後(外部からのダメージ有無確認)

ラック取り付け

ルーフラック、アクセサリラックに指定されている最大耐荷重、または車両メーカーが推奨する最大耐荷重を超えないように積荷をしてください。
最大重量=ルーフラック本体重量+アクセサリラック重量+積載物重量
積載物は可能な限り低く積み、かつ荷重を均一に分散させてください。
積載物がルーフラックの積載面から大幅にはみ出さないようにしてください。

走行中の注意点

走行速度は、キャリアの積載物と制限速度に適したものでなければなりません。

どのような積載物を運搬する場合でも、車両の速度は道路の状態、交通状況、天候などあらゆる条件を考慮に入れてください。
車両のハンドリング、コーナリング、ブレーキング、横風に対する対応は、積載物の重量、荷姿、形状などによって変化します。

オフロード走行は推奨しておらず、車両やギアの損傷につながる恐れがあります。

メンテナンス

不使用時、アクセサリラックは入念に拭き上げメンテナンスし、安全な場所で保管してください。(冬期は特に)
水溶性洗剤、もしくは一般的な洗車液を使用し、アルコール、漂白剤、アンモonium添加剤が入っている液体は使用しないでください。
燃費と他の道路利用者の安全のため、アクセサリラックとルーフラックは、使用しない時は取り外して車庫などの屋内で保管してください。

アクセサリラックに損傷がないが定期的に点検してください。
紛失、損傷、磨耗した部品は交換してください。スペアパーツは、YAKIMA 正規品のみを使用してください。

ルーフラックやアクセサリラックに加工を加えたり、メーカーが供給した以外のスペアパーツやアクセサリを使用したりすると、メーカーの保証が失効し、それによって発生する物的損害や事故はお客様の責任になります。
本取扱説明書を確認の上、供給された正規部品のみを使用してください。

YAKIMA®

TAKE IT EASY.

メーカーサイト: <https://yakima.com/>

日本語サイト: <https://yakima.auto-proz.com/>

YAKIMA 日本正規代理店

AUTOPROZ

株式会社 オートプロズ

〒911-0042 福井県勝山市荒土町松田23-20

TEL: 0779-89-2171

Mail: info@auto-proz.com

HP: <https://www.auto-proz.com/>